

【檜葉町】

小学校及び中学校に係る1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学校内の授業だけではなく、自宅での学習も対応可能とする1人1台端末の整備を令和4年度より開始した。端末整備に合わせ、学習系ネットワークの整備等を実施し、学力向上に向けた取組が行われた。檜葉町教育振興基本計画の基本目標に掲げている「切れ目のない継続した学びによる確かな学力を培う」ため、学習アプリ等を取り入れ、児童、生徒の学習を促している。繰り返し問題を解くことによる知識の定着を目指し、学習アプリを活用する一方で、ICT化が進むにつれ生じる正しい情報への理解等も強めていかなければならない。児童生徒1人1人が正しい情報や間違った情報を見抜ける能力を育成する。

2. GIGA第1期の総括

檜葉町では、児童・生徒の学習向上に向けて、1人1台端末整備を行い、遠隔授業や分散授業等を通じた学びの保障を実現した。整備したタブレット端末には、授業中や自宅学習のための学習アプリ、教職員には指導用アプリや連絡ツールアプリを取り入れ、一方では、文部科学省が実施する「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果等を踏まえ、引き続きICT活用指導力の向上を図る必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒一人一人の学習状況を考慮しながら、ICTを有効活用し、学習力向上を実現することが重要である。また、教職員の端末利活用についても、考慮しなければいけない。

(1) 1人1台端末の積極的活用

各学校でICTを利活用した教育の進展を支援するために、児童生徒のみならず、教職員のICT活用指導力のさらなる向上を図る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

協働的な学びの実現のために、児童生徒へ指導を行う教職員に対して、GIGA端末の活用方法の基礎から応用までを学ぶ機会を設ける。また、各学校に配置しているICT支援員と教職員の連携を十分に図り、よりよい教職員の指導力向上の実現を図る。

(3) 学びの保証

不登校児童生徒に対しても、GIGA端末を利用し自宅での学習できるような状況を作る。また、端末を利用し、教職員と密な連携を図り、学校との距離や他の児童生徒との学習状況に差が生じることがないようにする。